



TITLE:

彙報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

彙報. 東南アジア研究 1966, 4(1): 180-189

ISSUE DATE:

1966-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/55195>

RIGHT:

# 叢 報

## 目 次

- 1 東南アジア研究センター人事
- 2 東南アジア研究センター管理委員会名簿
- 3 東南アジア研究センター管理委員会開催日・議題
- 4 東南アジア研究センター運営委員会名簿
- 5 東南アジア研究センター運営委員会開催日・議題
- 6 東南アジア研究センター編集委員会開催日・議題
- 7 東南アジア研究センター奨励金受給者
- 8 東南アジア研究センターバンコク連絡事務所記事
- 9 東南アジア研究センター昭和41年度研究担当教官名簿
- 10 東南アジア研究センター学外研究参加者名簿
- 11 東南アジア研究センター昭和41年度現地調査計画
- 12 東南アジア医学シンポジウム計画
- 13 東南アジア研究センター研究例会記事
- 14 国外からの訪問者
- 15 関係者往来

### 1 東南アジア研究センター人事

昭和41年4月1日付けをもって、岩村忍所長が所長に再任された。5月1日荻野和彦助手が農学部配置換えとなり、研修員坪内良博が助手に任命された。

### 2 東南アジア研究センター管理委員会名簿

委員長	農学部 長	小林 章
副委員長	人文科学研究所 長	森 鹿 三
委員	文学部 長	大山 定 一
〃	教育学部 長	鯨 坂 二 夫
〃	法学部 長	田 畑 茂 二 郎
〃	経済学部 長	大 橋 隆 憲
〃	理学部 長	後 藤 良 造
〃	医学部 長	山 田 肇
〃	薬学部 長	上 尾 庄 次 郎
〃	工学部 長	桜 田 一 郎
〃	教養部 長	山 下 孝 介

委 員	結核研究所 長	長 石 忠 三
〃	防災研究所 長	石 原 藤 次 郎
〃	東南アジア研究センター 所長	岩 村 忍
幹 事	庶 務 部 長	内 藤 和 美
〃	経 理 部 長	西 間 木 久 郎

### 3 東南アジア研究センター管理委員会開催日・議題

昭和41年5月24日

- 1 昭和40年度東南アジア研究センター委任経理金決算について
- 2 昭和41年度東南アジア研究センター委任経理金予算(案)について
- 3 東南アジア研究センター組織内規一部改正について

### 4 東南アジア研究センター運営委員会名簿

所長	人文科学研究所 教授	岩 村 忍 (社会科学部 主任)
委員	文学部 教授	泉 井 久 之 助
〃	教育学部 教授	相 良 惟 一 (総務部 副主任)
〃	法学部 教授	猪 木 正 道 (社会科学部 副主任)
〃	法学部 教授	溜 池 良 夫
〃	経済学部 教授	堀 江 保 蔵 (総務部 主任)
〃	理学部 教授	芦 田 譲 治 (自然科学部 副主任)
〃	医学部 教授	藤 原 元 典
〃	医学部 教授	美 濃 口 玄
〃	医学部 教授	西 占 貢
〃	薬学部 教授	木 島 正 夫
〃	工学部 教授	瀧 本 清
〃	農学部 教授	四 手 井 綱 英 (自然科学部 副主任)
〃	農学部 教授	川 口 桂 三 郎
〃	教養部 教授	吉 井 良 三
〃	結核研究所 教授	内 藤 益 一
〃	防災研究所 教授	山 口 真 一
〃	東南アジア研究センター 教授	本 岡 武

## 5 東南アジア研究センター運営委員会開催日・議題

昭和41年4月5日・議題なし

昭和41年4月9日・議題なし

昭和41年4月19日・議題なし

昭和41年4月26日

- 1 助手選考の件
- 2 研究担当教官候補者について
- 3 学外者の研究参加について

昭和41年5月10日

- 1 昭和40年度決算について
- 2 昭和41年度予算について

昭和41年5月24日

- 1 東南アジア研究センター組織内規一部改正について

昭和41年6月28日

- 1 東南アジア研究センター組織内規第2条第3項第4号関係委員の委嘱について
- 2 総務部、社会科学部および自然科学部の各主任副主任の委嘱について
- 3 運営委員会の運営方針の決定について
- 4 編集委員委嘱について
- 5 研究担当教官候補者について
- 6 学外者の研究参加について

## 6 東南アジア研究センター編集委員会開催日・議題

昭和41年4月12日

- 1 「東南アジア研究」第3巻第3号および第3巻第4号の検討
- 2 「東南アジア研究」第3巻第5号の報告
- 3 「東南アジア研究」編集委員会の改組について
- 4 「東南アジア研究」第4巻第1号の編集プランについて

昭和41年5月10日

- 1 「東南アジア研究」第4巻第1号の報告
- 2 「東南アジア研究」第4巻第2号の編集プランについて

## 7 東南アジア研究センター奨励金受給者

水 野 浩 一 研 修 員  
坪 内 良 博 研 修 員 (5月1日より東南ア  
研助手に採用のため  
4月末で打切り)  
高 谷 好 一 工・研究生

## 8 東南アジア研究センターバンコク連絡事務所記事

昭和41年5月8日石井米雄助教授がバンコク連絡事務所長として現地に赴任した。昭和42年3月31日まで在勤の予定である。

## 9 東南アジア研究センター昭和41年度研究担当教官名簿

所 属	職 名	氏 名	研 究 題 目
東南アジア研究センター	所 長	岩 村 忍	東南アジアの社会
	教 授	本 岡 武	東南アジア諸国の農業開発
	助 教 授	石 井 米 雄	タイ国近代史
	助 手	飯 島 茂	タイ国の山地民社会
	助 手	坪 内 良 博	マラヤ農村の社会構造
文 学 部	研 修 員	水 野 浩 一	タイ国東北部の村落社会の変動
	研 究 生	高 谷 好 一	メナムデルタの発達史
	教 授	泉 井 久 之 助	マライ・ポリネシア諸語の比較言語学的研究
	教 授	織 田 武 雄	東南アジアにおける村落
	助 教 授	池 田 義 祐	東南アジアにおける家族と村落
教 育 学 部	助 教 授	西 田 龍 雄	東南アジアの言語
	教 授	相 良 惟 一	東南アジアの近代化と教育の役割
	教 授	池 田 進	同 上
	教 授	佐 藤 幸 治	東南アジアにおける禅法の比較研究
	助 教 授	小 田 武	東南アジアにおける教育内容

所 属	職 名	氏 名	研 究 題 目
教育学部	助 教 授	小 倉 親 雄	東南アジアにおける読書の資源と機会
	助 教	森 口 兼 二	東南アジアの近代化と教育の役割
法学部	助 手	栗 本 一 男	同 上
	教 授	中 田 淳 一	東南アジア諸国の比較法的研究
	教 授	田 畑 茂 二 郎	東南アジアにおける国際関係
	教 授	猪 木 正 道	東南アジア諸国家における政治組織と政治過程
	教 授	磯 村 哲	東南アジア諸国の比較法的研究
	教 授	平 場 安 治	同 上
	教 授	溜 池 良 夫	同 上
	教 授	福 島 徳 寿 郎	東南アジア諸国家における政治組織と政治過程
	教 授	道 田 信 一 郎	東南アジア諸国の比較法的研究
	教 授	勝 田 吉 太 郎	東南アジア諸国の政治思想
	教 授	香 西 茂	東南アジア諸国家における政治組織と政治過程
	教 授	上 山 安 敏	東南アジア諸国の比較法的研究
	助 教 授	清 永 敬 次	東南アジア諸国家における政治組織と政治過程
	助 教 授	園 部 逸 夫	同 上
	助 教 授	龍 田 節	東南アジア諸国の比較法的研究
	助 教 授	高 坂 正 堯	東南アジアにおける国際関係
経済学部	助 教	村 松 岐 夫	東南アジア諸国の比較法的研究
	教 授	堀 江 保 蔵	東南アジアの経済的近代化の要因
理学部	助 教	鎌 倉 昇	東南アジア経済近代化の阻害条件
	教 授	芦 田 讓 治	東南アジアの植物
	教 授	波 多 野 博 行	東南アジアにおける <sup>18</sup> O-炭酸カルシウムの分布
	教 授	久 保 寺 章	東南アジアの火山および地震
	教 授	小 沢 泉 夫	東南アジアの地震と地殻変動
	助 教 授	吉 川 恭 三	東南アジアにおける陸水
	助 教 授	田 川 基 二	東南アジアのシダ植物
医学部	助 手	岩 槻 邦 男	同 上
	教 授	浅 山 亮 二	東南アジアにおける失明の原因とその対策
	教 授	美 濃 口 玄	東南アジアにおける飲料水中弗素量と斑状歯発症との関係
	教 授	村 上 仁	東南アジアにおける民族精神医学的研究
	教 授	西 占 貢	東南アジアにおける小児らいの研究
	助 教 授	岡 田 誠 太 郎	同 上
	助 教 授	小 野 尊 睦	東南アジアの慢性弗素中毒症
	助 教 授	加 藤 清	タイ国における精神障害者の精神医学的調査
	助 手	笠 原 嘉	同 上
	助 手	佐 藤 匠	東南アジアの慢性弗素中毒症
	助 手	天 野 義 彦	同 上
薬学部	教 授	井 上 博 之 夫	東南アジアにおける医薬資源としての植物
	教 授	木 島 正 夫	東南アジアにおける薬用植物と生薬の調査
	助 教	秦 清 之	同 上
工学部	教 授	松 尾 新 一 郎	タイ国における土質・地下水
	教 授	瀧 本 清 郎	東南アジアにおける酸性火成岩にともなう鉱床
	教 授	吉 住 永 三 郎	東南アジアにおける地下資源の探査

所 属	職 名	氏 名	研 究 題 目
工 学 部	教 授	向 井 滋	東南アジアにおける鉱産資源の選鉱
	教 授	森 山 徐 一郎	東南アジアの非鉄金属・希有金属資源と製錬
	助 教 授	鈴 鹿 恒 茂	東南アジアにおける酸性火成岩にともなう鉱床
	助 教 授	谷 口 敬 一郎	東南アジアにおける地下資源の探査
	講 師	河 野 伊 一郎	タイ国における土質・地下水
	講 師	港 種 雄	東南アジアにおける酸性火成岩にともなう鉱床
	講 師	入 江 恒 爾	東南アジアにおける地下資源の探査
	教 授	上 坂 章 次	東南アジアにおける飼料中の微量元素含量の分布
	教 授	長 谷 川 浩	東南アジアにおける稲作
	教 授	西 川 義 正	東南アジア地域における家畜の生産性
農 学 部	教 授	四 手 井 綱 英	東南アジアの自然環境
	教 授	川 口 桂 三 郎	東南アジアの水田土壌
	教 授	赤 井 重 恭	東南アジアにおける稲作病害
	教 授	沢 田 敏 男	東南アジアにおける農業水利構造物
	教 授	富 士 岡 義 一	東南アジアにおける土地水資源と農業開発
	教 授	桑 原 正 信	タイ国に適應せる農業簿記様式
	教 授	貝 原 基 介	簿記調査にもとづくタイ国農業経営
	教 授	高 橋 英 一	東南アジアの水稻の栄養生理
	助 教 授	堤 利 夫	東南アジアの自然環境
	助 教 授	松 尾 嘉 郎	東南アジアの水田土壌
教 養 部	助 教 授	田 中 正 武	東南アジアにおけるコムギの地理的分布
	助 教 授	南 勲	東南アジアの広域農業水利計画
	助 教 授	菊 地 泰 次	タイ国に適應せる農業簿記様式
	助 教 授	阿 部 亮 耳	簿記調査にもとづくタイ国農業経営
	助 教 授	亀 谷 昱	同 上
	助 手	久 馬 一 剛	東南アジアの水田土壌
	助 手	堀 川 幸 也	同 上
	助 手	北 村 貞 太 郎	東南アジアにおける農地開発計画
	助 手	河 津 一 儀	魚毒性成分含有植物の探索とその成分の化学研究
	助 手	小 林 達 治	水田土壌中の窒素固定性微生物の探索
化学研究所 人文科学研究所	助 手	菅 誠	熱帯林の生態学的研究
	助 手	荻 野 和 彦	同 上
	教 授	柴 田 実	東南アジアの稲米儀礼
	教 授	西 村 睦 男	東南アジアの経済地理的研究
	教 授	大 浦 幸 男	東南アジアにおける外国語教育
	教 授	吉 井 良 三	東南アジアのファウナ
	教 授	平 野 実	陸水産藻類の植物分類的植物地理学的研究
	教 授	山 下 孝 介	南方栽培植物の特性とその導入にかんする研究
	教 授	久 米 直 一	南方植物の発生生理
	助 教 授	安 藤 昭 一	東南アジアにおける外国語教育
化学研究所 人文科学研究所	助 教 授	尾 崎 雄 二 郎	東南アジアにおける中国語方言
	助 手	横 田 澄 司	自己評価と行動型式にかんする研究
	教 授	水 渡 英 二	東南アジアにおけるゴム加工
	教 授	平 岡 武 夫	東南アジアの仏教

所 属	職 名	氏 名	研 究 題 目
人 文 学 科 学 研 究 所	助 教 授	日 比 野 丈 夫	マラヤの華僑
結核研究所	助 教 授	吉 田 光 邦	マラヤの村落
	教 授	長 石 忠 三	東南アジアにおける結核の現状調査と結核外科指導
	教 授	内 藤 益 一	東南アジアにおける結核の疫学と化学療法
	助 教 授	寺 松 孝	東南アジアにおける結核の現状調査と結核外科指導
木材研究所	助 教 授	前 川 暢 夫	東南アジアにおける結核の疫学と化学療法
	教 授	貴 島 恒 夫	南方材の調査
	教 授	北 尾 弘 一 郎	同 上
食 糧 科 学 研 究 所	助 教 授	西 本 孝 一	同 上
防災研究所	教 授	葛 西 善 三 郎	東南アジアにおける食糧資源の開発と利用
	教 授	石 崎 澄 雄	東南アジアにおける構造物の暴風災害
	教 授	山 口 真 一	東南アジアにおける地盤地質と地すべり地の分布型
	教 授	若 林 実	東南アジアにおける構造物の風害と震害
	教 授	石 原 安 雄	東南アジアにおける水災害
	教 授	芦 田 和 男	同 上
	教 授	角 屋 睦	同 上
	教 授	南 井 良 一 郎	東南アジアにおける構造物と地盤の震害調査
	助 教 授	樋 口 明 生	東南アジアにおける水災害
	助 教 授	中 川 博 次	東南アジアにおける水災害
	助 教 授	光 田 寧	東南アジアにおける構造物の暴風災害
	助 教 授	高 田 雄 次	東南アジアにおける地盤地質と地すべり地の分布型
	助 教 授	野 中 泰 二 郎	東南アジアにおける構造物の風害と震害
	助 教 授	長 尾 正 志	東南アジアにおける水災害
	助 教 授	井 上 豊	東南アジアにおける構造物と地盤の震害調査
	助 手	桂 順 治	東南アジアにおける構造物の暴風災害
	助 手	鈴 木 有	東南アジアにおける構造物と地盤の震害調査
ウ イ ル ス 研 究 所	助 手	松 井 千 秋	東南アジアにおける構造物の風害と震害
	教 授	東 昇	東南アジアにおける熱帯ウイルス病
	教 授	松 本 清 一	狂犬病街上毒ウイルスの蒐集
	助 教 授	市 田 文 弘	東南アジアにおける流行性肝炎

## 10 東南アジア研究センター学外研究参加者名簿（ABC順）

所 属	職 名	氏 名	研 究 題 目
東海大学文学部	文 学 部 長 (京大名誉教授)	足 利 惇 氏	東南アジアにおけるインド的要素
九州大学教育学部	助 教 授	綾 部 恒 雄	東南アジアにおける教育文化の比較研究
関西大学文学部	教 授	藤 本 勝 次	マラヤのイスラム社会
京都女子大学文学部	教 授	藤 原 利 一 郎	東南アジアにおける華僑発達史
花園大学仏教学部	教 授	藤 吉 慈 海	東南アジアの仏教教団
京都府立大学農学部	助 教 授	服 部 共 生	東南アジアの水田土壌の鉱物学的研究
帝塚山大学教養学部	助 教 授	伊 原 吉 之 助	東南アジア近代化の比較史的研究
東京医科歯科大学教養部	助 手	今 立 源 太 良	東南アジアにおける森林土壌動物
広島大学教育学部	教 授	石 堂 豊	東南アジアにおける社会教育と教育事情

所 属	職 名	氏 名	研 究 題 目
大阪市立大学法学部	教 授	神 谷 不 二	東南アジアとくにインドネシアにおける政 軍関係
富山大学薬学部	教 授	木 村 康 一	東南アジアにおける薬用植物
奈良教育大学	講 師	北 川 尚 史	東南アジアの苔類
竜谷大学文学部	助 教 授	口 羽 益 生	マラヤとインドネシアの社会構造
岡山大学農業生物研究所	教 授	小 林 純	東南アジアの河川の化学的研究
天理大学外国語学部	講 師	前 田 清 茂	マラヤ村落における華僑
天理大学文学部	教 授	中 村 孝 志	南 方 華 僑 史
大阪外国語大学	助 手	大 野 徹	ビルマ系諸言語の記述的歴史的研究
東海大学文学部	助 手	酒 井 敏 明	東南アジアの人文地理
兵庫農科大学	教 授	佐 藤 孝	東南アジアにおける畑作の栽培学的研究
京都府立医科大学医動 物学教室	研 究 員	正 垣 幸 男	東南アジアのフィラリア・マラリア・寄生 蠕虫
山口大学教育学部	講 師	高 木 英 明	東南アジアにおける教育制度
神戸大学教育学部	教 授	高 木 太 郎	東南アジアにおける教育制度
東北薬科大学	教 授	高 橋 三 雄	フィリピンとタイの薬用資源の化学的研究
財団法人アジア救ライ 協会	医 務 部 長	戸 田 圓 二 郎	タイ国におけるライの臨床的・病理学的調 査研究
東京大学東洋文化研究所	講 師	築 島 謙 三	マレー人村落の自治体制と人倫意識
京都産業大学	教 授 (京大名誉教授)	上 田 弘 一 郎	東南アジアにおける竹林の生態学的研究
京都府立大学農学部	助 教 授	渡 部 忠 世	東南アジアにおける水稲栽培の作物学的研究
大阪市教育研究所	所 員	山 口 三 郎	東南アジアの教育制度の比較研究
天理よろず相談所憩の家	肺 外 科 部 長	山 本 利 雄	東南アジアにおける肺・心臓外科の現状調査
大阪外国語大学	講 師	矢 野 暢	タイ国南部の村落社会の変動

# 11 東南アジア研究センター昭和41年度現地調査計画

区 分	氏 名	所 属	題 目	日程・日数	地 区
<b>社会科学部</b>					
<b>A. Core Project</b>					
1 ビルマ・タイ計 画	石 井 米 雄	東 南 ア 研 助 教 授	タイ国におけるいわゆる 農奴制(Phrai)と奴隷制 (That)の崩壊過程	41.5.8～ 42.3.31	タイ・マレーシア ・インドネシア
	飯 島 茂	東 南 ア 研 助 手	タイ国における山地民社 会	41.7.31 まで	タイ
	〃	〃	カレン族にかんする文献 的研究	41.8.1～ 41.10.31	連合王国・アメリ カ
	水 野 浩 一	東 南 ア 研 研 修 員	タイ国東北部の村落社会 の変動	41.7.28 まで	タイ
2 マレーシア・イ ンドネシア計画	前 田 成 文	文・大学院	マラヤにおける前モスリ ム・マレー人村落社会	41.4.30 まで	マレーシア
<b>B. Special Project</b>					
1 経 済 班	高 谷 好 一	工・研究生	メナム沖積平原の形成過 程	41.8.1～ 42.5.31	タイ
2 政 治 班	神 谷 不 二	大阪市大・法 教 授	東南アジアにおける軍政 機構	41.5.10～ 41.5.31	タイ・マレーシア インドネシア・カ ンボジア

区 分	氏 名	所 属	題 目	日程・日数	地 区
自然科学部 B. Special Project 1 医 薬 班 生 薬 学 精 神 病 学 口 腔 外 科 学 結 核 内 科 学 結 核 外 科 学 2 地 学 班 金 属 製 練 地 球 物 理 学 3 農 業 生 産 班 稲 作 改 良 水 利 開 発 畜 産 改 良 木 材 利 用 4 生 物 班 C. 個 別 計 画 1 水田土壌の研究	溜 池 良 夫	法・教 授	東南アジア諸国の法律の比較法的研究	45日	タイ・マレーシア フィリピン・インドネシア
	川 又 良 也	法・助教授	同 上	45日	同 上
	木 島 正 夫	薬・教 授	生薬生産状況の予察	15日	タイ・ホンコン
	笠 原 嘉	医・助 手	タイ国における精神障害者調査	30日	タイ
	小 野 尊 睦	医・助教授	タイ, インド, セイロンにおける口腔疾患調査	50日	タイ・インド・セイロン
	天 野 義 彦	医・助 手	タイ国における口腔疾患調査	60日	タイ
	前 川 暢 夫	結研・助教授	タイ国における呼吸器疾患調査	20日	タイ・マレーシア カンボジア
	佐 川 弥 之 助	結研・助手	同 上	20日	同 上
	森 山 徐 一 郎	工・教 授	マレーシアにおける非鉄金属の製錬	15日	タイ・マレーシア
	山 口 真 一	防災研・教授	火山性地すべり	15日	フィリピン・マレーシア・インドネシア
	高 橋 英 一	農・教 授	水 稻 栄 養	23日	タイ
	赤 井 重 恭	農・教 授	同 上	30日	タイ・マレーシア フィリピン・台湾
	福 井 捷 朗	農・大学院	同 上	240日 41.6.1~ 42.1.27	タイ
	富 士 岡 義 一	農・教 授	水 利 開 発	40日	マレーシア・カンボジア
	西 川 義 正	農・教 授	家 畜 改 良	14日	タイ・マレーシア
	佐々江 洋太郎	農・大学院	同 上	150日	同 上
	貴 島 恒 夫	木研・教授	木 材 利 用	30日	タイ・マレーシア フィリピン
	未 定				
	川 口 桂 三 郎	農・教 授	熱帯水田土壌調査	80日	東パキスタン・ビルマ・フィリピン カンボジア・台湾
	松 尾 嘉 郎	農・助教授	同 上	80日	タイ・マレーシア カンボジア
	久 馬 一 剛	農・助 手	同 上	23日	東パキスタン・ビルマ・フィリピン カンボジア・台湾
	堀 川 幸 也	高知大・農 助 教 授	同 上	45日	マレーシア・タイ
	服 部 共 生	京都府大・農 助 教 授	同 上	45日	マレーシア・タイ カンボジア



## 12 東南アジア医学シンポジウム計画

### 趣 意

東南アジアにおける医学研究および医療協力については、ここ数年のうちにわが国からも多くの調査団や治療班その他が派遣せられ多大の業績をあげている。しかし、現状をみるにそれらの貴重な研究や経験について広く一般的にまたおのおの専門において十分に討議がなされるべき場に乏しいうらみがある。

そこで今回、厚生省・京都大学東南アジア研究センター・海外技術協力事業団の共催の下に、東南アジアにおける医学的問題点を把握検討する目的をもって「東南アジア医学シンポジウム」を開催したいと思う。

これにより、現地において活躍された方々およびわが国における権威が一堂に会し得る機会が得られ、東南アジア医学の現状が明らかにされるとともにわが国医学界が本地域において将来とるべき方向についての検討が行なわれると期待される。

### 要 領

1. 題 目 “東南アジア医学シンポジウム”（主目的：東南アジアにおける医学的問題点を把握検討する）
2. 主 催 厚生省・京都大学東南アジア研究センター・海外技術協力事業団
3. 期 日 1966年10月1日（土）～2日（日）
4. 場 所 京都会館および都ホテル
5. 日 程 後 記
6. 参 加 者 座 長 11名（氏名後記）  
副 座 長 6名（ 〃 ）  
招 待 講 演 6名（ 〃 ）  
討 論 参 加 者 約60名
7. 組 織 委 員 会
 

委 員 長	東 昇	京都大学ウイルス研究所教授
委 員	浅山 亮二	京都大学医学部教授
	今村 昌耕	結核予防会付属結核研究所研修部長
	春日 齐	厚生省公衆衛生局防疫課長
	美濃口 玄	京都大学医学部教授
	三浦 英夫	厚生省医務局医事課長
	宮崎 一郎	九州大学医学部教授
	森下 薫	大阪大学名誉教授
	村上 仁	京都大学医学部教授
	長石 忠三	京都大学結核研究所長
	内藤 益一	京都大学結核研究所教授
	西尾 雅七	京都大学医学部教授
	西占 貢	京都大学医学部付属皮膚病特別研究施設長
	小川 良治	海外技術協力事業団総務部技術室長
8. 事 務 局
 

	加藤 清	海外技術協力事業団海外事業部医療協力室
	前川 暢夫	京都大学結核研究所助教授
	三井 源蔵	日本熱帯医学協会常務理事
	本岡 武	京都大学東南アジア研究センター教授
	大谷 藤郎	厚生省医務局医事課
	寺松 孝	京都大学結核研究所助教授

日 程

第1日 10月1日(土)

開 会 式 12:30~12:50

第1主題~第4主題の各シンポジウム 13:00~16:30

- 第1主題 寄 生 虫 座 長:森 下 薫(大阪大学名誉教授)  
 第2主題 ウイルス性疾患 座 長:東 昇(京都大学ウイルス研究所教授)  
 第3主題 性 病 座 長:伊 藤 賀 祐(岐阜大学医学部教授)  
 第4主題 結 核 座 長:内 藤 益 一(京都大学結核研究所教授)  
 副座長:前 川 暢 夫(京都大学結核研究所助教授)  
 ◇:並 河 靖(結核予防会京都府支部西之京健康相談所長)  
 ◇:沢 田 哲 治(BCG研究所長)  
 ◇:島 尾 忠 男(結核予防会付属結核研究所研究部長)  
 ◇:高 井 鎌 二(結核予防会付属結核研究所集団検診科長)  
 ◇:寺 松 孝(京都大学結核研究所助教授)

挨 拶 16:50~17:00

招待講演 1. 東南アジアにおける衛生事情 17:00~17:30

座 長:西 尾 雅 七(京都大学医学部教授)

講演者:曾 田 長 宗(国立公衆衛生院長)

招待講演 2. 海外医療協力の実情 17:30~18:00

座 長:平 沢 興(京都大学名誉教授)

講演者:若 松 栄 一(厚生省医務局長)

京都大学総長レセプション 18:10~20:00

第2日 10月2日(日)

総 会 議 事 9:30~9:50

招待講演 3. タイのらい特に小児らいに関する現地調査 10:00~10:30

座 長:西 村 真 二(大阪大学微生物病研究所教授)

講演者:岡 田 誠 太 郎(京都大学医学部付属皮膚病特別研究施設助教授)

招待講演 4. むし歯の問題 10:30~11:00

座 長:高 浜 靖 英(神奈川歯科大学教授)

講演者:美 濃 口 玄(京都大学医学部教授)

招待講演 5. タイにおける2, 3の神経疾患について 11:00~11:30

座 長:村 上 仁(京都大学医学部教授)

講演者:白 木 博 次(東京大学医学部教授)

招待講演 6. タイ国における眼科疾患 11:30~12:00

座 長:中 島 章(順天堂大学医学部付属順天堂医院教授)

講演者:浅 山 亮 二(京都大学医学部教授)

総 合 討 議 13:00~16:30

座 長:白 羽 弥右衛門(大阪市立大学医学部教授)

閉 会 式 16:30~16:50

### 13 東南アジア研究センター研究例会記事

回数	年 月 日	講 演 者	題 目
92	昭和40年12月17日	中 村 孝 志	「マラッカの近世史料について」
		前 田 清 茂	「アロールジャングスの中国人」
96	昭和41年 4 月28日	岩 村 忍	「アジア学会および HRAF 会議出席報告」
		四 手 井 綱 英	「タイ、マレーシアにおけるラボラトリー計画調査の報告」
		石 井 米 雄	
97	昭和41年 5 月16日	美 濃 口 玄	「熱帯地域の慢性弗素中毒」
		天 野 義 彦	
		西 占 貢	「タイおよびカンボジアにおけるらい対策の現況」
		岡 田 誠 太 郎	「タイ国のらいにかんする小児の免疫学的研究」
98	昭和41年 5 月26日	福 井 捷 朗	「タイ国水稻の植物栄養学的研究」
		高 橋 英 一	
		小 林 達 治	「タイ・マラヤの窒素固定性微生物」
		高 橋 英 一	
		久 馬 一 剛	「セイロン国水田土壌現地調査報告」
		川 口 桂 三 郎	
99	昭和41年 6 月17日	上 田 弘 一 郎	「タイ国のパルプ用竹資源について」
		鈴 鹿 恒 茂	「マラヤにおける鉄および錫鉱床について」
		港 種 雄	
		谷 口 敬 一 郎	「マラヤにおける物理探鉱」
		入 江 恒 爾	
100	昭和41年 6 月23日	赤 井 重 恭	「東南アジアにおける作物の病害について」
		渡 部 忠 世	「タイ北部における糯稻栽培——特に収量および収量構成について」

### 14 国 外 か ら の 訪 問 者

年 月 日	氏 名
昭和41年 4 月30日	Mr. D. L. Mazumudal, Director, India International Centre
昭和41年 5 月12日	Dr. McGeorge Bundy, Jr., President of The Ford Foundation (京都国際ホテルにて所長らと会見)
昭和41年 5 月13日	Professor Talbot, Chulalongkorn University, and Professor Somsakdi Xuto, Head, Department of Foreign Affairs and Diplomacy, Chulalongkorn University
昭和41年 6 月 6 日	Mr. Lionel Landry, Director, The Asian Society
昭和41年 6 月13日	Miss Belen H. Abreu, Executive Trustee, Ramon Magsaysay Award Foundation
昭和41年 6 月14日	Dr. Lynne L. Merritt, Jr., Vice President for Research and Dean of Advanced Studies, Indiana University
昭和41年 6 月24日	Mr. Richard Slander, Yale University, Fulbright Scholar
昭和41年 6 月25日	Dr. Thomas P. Thornton, Bureau of Research, U. S. Department of State
昭和41年 6 月28日	Mrs. Sumi Y. Makey, Field Study Officer, Institute for Student Interchange, East-west Center, University of Hawaii